

樹木医学会臨症事例賞受賞

三瓶保之様が受賞報告のため表敬訪問されます



ターゲット 17.16

令和元年 12 月 4 日

郡山市文化スポーツ部

国際政策課

担当：岩浪 正人

TEL：924-3711

SDGs ターゲット 17.16 「持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する」

樹木医学会臨症事例賞を受賞された郡山市の三瓶保之様が、受賞報告のため、市長を表敬訪問されます。

- 1 日時 12月5日(木) 午前10時
- 2 会場 市役所秘書課応接室(本庁舎2階)
- 3 出席者 三瓶 保之様(日本樹木医会福島県支部・樹木医)
- 4 対応 郡山市長
文化スポーツ部長
都市整備部長

<受賞内容>

樹木医学会	樹木医をはじめとして、樹木学、造園学、土壌学、樹病学、昆虫学、樹木生理学など、様々な分野の研究者、技術者、学生などで構成され、樹木医学の研究や実践活動に取り組まれている団体です。
臨症事例賞	優れた臨症事例を樹木医学研究に発表した方に授与されます。 2013年以降、該当者なしが続き、三瓶様は5年ぶりの受賞者となりました。
受賞業績	郡山市開成山公園内の高齢「染井吉野」に対する樹齢の検証
授賞式 受賞講演	東京大学において、11月23日(土)に授賞式が、翌24日(日)に受賞講演が行われました。

<開成山公園内の高齢「染井吉野」に対する樹齢調査>

- ・「猪苗代湖・安積疏水・安積開拓を結ぶストーリー」の日本遺産認定を契機に、2016年に実施した調査です。
- ・開成山公園内にあるサクラ「染井吉野」の一部は、1878年に開成社で植えたとの文献がありました。樹齢100年を超える染井吉野は稀であり、文献どおりであれば大変貴重なことから、それらを証明するため放射性炭素年代調査等を実施しました。
- ・本調査により、開成山公園内にある染井吉野は日本最古級であることが判明しました。

